

## 令和 7 年度第 3 回中野市保育所等運営審議会 会議録要旨

日 時	令和 7 年 11 月 5 日（水） 18：00～19：43
会 場	会議室 21
出席者	<p>【委員】 中村幹夫委員、若林幸裕委員、小林啓治委員、西原芳子委員、岸田裕司委員、西澤可奈恵委員、澤田由美子委員、勝山裕二委員</p> <p>【事務局】 市長、子ども部長、保育課長、保育課長補佐兼施設係長、保育係長、松川保育園長、担当</p>
次 第	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 協議事項</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 第 3 期中野市保育所整備計画（素案）について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 第 3 期中野市保育所整備計画について（答申）案</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) みなみ保育園通園バスについて</p> <p>4 その他</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 教育・保育施設の利用定員の設定について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について</p> <p>5 閉会</p>
資 料	<p>資料 1-1 第 3 期中野市保育所整備計画（素案）※第 2 回審議会資料から変更なし</p> <p>資料 1-2 第 3 期中野市保育所整備計画（素案）に対するご意見と市の考え方（まとめ）</p> <p>資料 2 第 3 期中野市保育所整備計画について（答申）（案）</p> <p>資料 3 教育・保育施設の利用定員の設定について</p> <p>資料 4 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について</p>
内 容	<p>1 開会 保育課長、子ども部長</p> <p>2 あいさつ 中村会長</p> <p>3 会議事項</p> <p>(1) 第 3 期中野市保育所整備計画（素案）について</p> <p style="padding-left: 20px;">【保育課長補佐兼施設係長】</p> <p style="padding-left: 40px;">※ 資料 1-1 及び 1-2 に基づき説明</p> <p style="padding-left: 20px;">【委員】</p> <p style="padding-left: 40px;">資料 1-1 の素案 P10 の(2)保育所の運営方針③について、「市職員による巡回指導および助言」とあるが、今も何か行っているのか。</p> <p style="padding-left: 40px;">また、P11 に誰でも通園制度に関する内容を追加していただきたい。また、3. 保育</p>

の質の向上②に公立園、私立園の分け隔てなく、交流や情報交換、職員連携を進めていく、という主旨の内容を追加していただきたい。

資料1-2のP6の内容で、松川保育園が廃止となる際に「今まで通っていた地区の方々はどうなるのか、という部分について丁寧な説明が必要と考えます」という記載がありますが、その通りだと考えるため、ぜひ丁寧な説明をお願いしたい。

【事務局】

市は、特定保育・教育施設に対し、巡回指導する義務がありますので、定期的に調書を作成いただき、調書の記載内容に基づいて施設が適切に運営されているか監査するとともに、必要な指導を行っています。なお、対応する職員については、保育課長、保育係長、担当となります。

【委員】

施設の運営について、そのような対応をされているということで理解しました。近隣自治体においては、園長職の方が退職された後に、再任用され、保育の質の部分で一定のレベルが担保できるような仕組みづくりをしているようだが、中野市においてもそういう取り組みを今後検討いただきたい。

【事務局】

今後検討してまいります。

【委員】

市町村の担当者が情報共有等するための会議も多くあるが、北信の職員について、出席がほとんどないように感じる。中野市においてもそういった会議には積極的に参加するよう要望します。

【事務局】

公立園と私立園との情報共有の機会についてですが、素案の6(3)3「保育の質の向上」②を「保護者や地域住民、私立保育所等関係機関との連携や交流・情報交換に努めます。」という記載へと修正したいと思います。また、松川保育園の廃止時に、希望する転園先へ行けるよう配慮を、という部分については、可能な限り希望通りに調整したいと考えていますが、申込状況等にもよるため、絶対に、とは言えない状況です。

【委員】

松川保育園が廃止となることについては残念に感じるが、現状を踏まえると仕方がないと感じる。廃止時の転園先について等ちゃんと説明をお願いしたい。

【委員】

この件については、コドモン（保護者連絡アプリ）においても周知してもらっており、保護者間でも松川保育園が廃止となる件について知っている方が多いように感じる。引き続き、丁寧な周知をお願いしたい。

【委員】

実際に松川保育園を見学してみました。鉄骨造であり、修繕等必要な対応は実施していただいていると思うが、様々な部分で老朽化を感じた。ただ、子ども達はとても生き生きと元気に過ごしていたので、安心した。松川保育園の近隣にもさくら保育園やひまわり保育園、中野マリア幼稚園、ひよこ保育園、中央幼稚園等保育施設があり、ある程度の受け入れ体制が確保できていることから、松川保育園の建て替えが難しい

というのも理解できる。

【委員】

松川保育園の現地見学には参加できなかったが、老朽化しているという状況は理解できる。また、民設民営による高丘さつきこども園を見学したことがあるが、素晴らしくきれいで良い環境であった。今後、公立と私立の分けなく、保育環境を整備していくということであれば、公立と私立で交流できる場を整えて、どういう保育をしていくか等保育の質の向上に向けた取り組みを検討していただきたい。また、誰でも通園に関する記載を整備計画に盛り込むのは構わないが、実際に対応可能なのか、ということを考えて記載をお願いしたい。松川保育園の他にも公立保育所があるが、そもそも保育所を建てた時点で、いずれ老朽化による建て替え等を検討しなければならないのは分かっているはずなので、計画的な対応をお願いしたい。

【事務局】

公立と私立の施設数もほぼ同数となってきた中で、一定の保育の質を維持するためにも、委員の皆様からご意見等いただいたように、事務局としても公立と私立での情報交換・交流の場が必要と考え、今年度計画しているところとなります。

【委員】

松川保育園の廃止に伴い、地域との交流の場が一つ無くなってしまう、という部分は残念に感じる。人口減少により、仕方ないというのは理解できる。

【委員】

平野さつきこども園、高丘さつきこども園の新園舎は老朽化が進んだ旧園舎と比べると、施設面における様々な不安が払しょくされ、安心して子どもを預けることができる環境となったように感じる。老朽化が進んでいるため、松川保育園の廃止についても仕方ないと感じるが、保護者が不安とならないよう、早めの周知をお願いしたい。私立と公立ではそれぞれ良い所と悪い所があると思いますが、私立・公立との情報交換・交流の場を持つことで、お互いに切磋琢磨していただきたい。

【会長】

委員の皆様においてご審議いただいたところですが、審議会として、第3期中野市保育所整備計画（素案）に「こども誰でも通園制度」を明記することをお願いすることとし、その他は諮問どおりとすることに賛成の委員の挙手をお願いします。

【全委員】

異議なし（挙手全員）。

【会長】

挙手全員でございます。よって、本審議会としては、中野市の諮問どおりとすることに決しました。

(2) 第3期中野市保育所整備計画について（答申）案

【保育課長補佐兼施設係長】

※ 資料2に基づき説明

【委員】

「松川保育園は令和12年度末を目標に廃止する」とあるが、「目標」ではなく、「令

和 12 年度末で」とか「令和 12 年度末をもって」等、明記した方がよいのではないか。

【事務局】

今後の保育需要等不確定要素もあることから、本計画においては、「令和 12 年度末を目標に廃止」とすることとするものです。なお、本計画においても記載のあるとおり、保育所整備等の際には、別途「個別実施計画」を策定することとしておりますので、その中で廃止時期を明記することとします。

【会長】

その他無いようであれば、答申については、11 月 14 日に市長へ提出したいと思えます。「こども誰でも通園制度」の明記の確認と答申は、私の方で対応させていただきたいと思えますが、ご一任いただけますでしょうか。

【全委員】

異議なし（挙手全員）。

【会長】

ありがとうございます。それでは、私の方で答申の対応をさせていただくこととします。

### (3) みなみ保育園通園バスについて

【保育課長補佐兼施設係長】

※ 資料なし

第 1 回の審議会においても説明をさせていただきましたが、みなみ保育園の通園バスについて、現在利用者が 4 名、うち 3 名が令和 7 年度末に卒園し、令和 8 年度は 1 名の利用予定となってしまう現状を踏まえ、公平性の観点から、令和 7 年度末をもって廃止することを検討するため、該当する 1 名の保護者に通園バスが無ければ通園できない等事情があるかを含めて確認を行いました。その結果、該当する 1 名については、保護者による送迎対応が可能であることが確認でき、保護者の理解も得られたことから、改めて、令和 7 年度末をもってみなみ保育園の通園バスを廃止することを決定しましたので、ご報告します。

【委員】

みなみ保育園については、日野地区、延徳地区の保育園を統合して建設され、統合に併せて通園バスの運行を開始したのではないかと考えているところですが、今後、新たに通園バスを利用したいという保護者が出てくる可能性はないのか。

【事務局】

入所申込の時点で、みなみ保育園について通園バスの運行はない旨記載のうえ、申込を受け付けるため、そういったことにはならない想定です。

【委員】

みなみ保育園の通園バスについては、利用者の状況を踏まえて理解したが、令和 12 年度末に松川保育園を廃止する際の話で、資料 1-2 の P5 意見 11 に対する回答 11 で「送迎対応等のご意見があるようでしたら検討してまいります」と回答している中で、松川保育園廃止の際は通園バスの運行を検討するのか。

【事務局】

現在、みなみ保育園以外では、たかやしろ保育園とひらおか保育園でも通園バスを運行しており、いずれも利用者は10名程度となります。利用者は年々減少傾向にある状況。松川保育園廃止の際の通園バス運行については、廃止に伴う転園で送迎対応がないと通園できない方がいるかどうか、という部分にもよるため、検討すると回答させていただいたところです。

【会長】

みなみ保育園通園バスについては、今年度末で廃止とのことですので、ご承知おきください。以上で協議事項を終わります。

4 その他

(1) 教育・保育施設の利用定員の設定について

【保育係長】

※ 資料3に基づき説明

【委員】

松川保育園の廃止時に、転園先として中央幼稚園を希望する保護者がいた場合は、90人の利用定員設定で対応できるのか。

【事務局】

保育所と幼稚園の施設種別の違いがあるため、中央幼稚園を転園先とする保護者は多くない想定ですが、一時的に利用定員の2割増しまで弾力運用することは可能となります。

(2) 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について

【保育係長】

※ 資料4に基づき説明

【委員】

こども誰でも通園制度について、利用時間は月10時間まで、利用料金は1時間当たり300円を想定しているという話も出てきたが、そういう具体的な数字も周知していくべきではないか。また、一時預かりとの違いを分かりやすく周知してほしい。

【委員】

給食提供や、どの園で実施するか、部屋や職員体制はどのようになるのか等、検討中だと思うが、決定次第、早めの周知をお願いしたい。

【事務局】

現在はまだ検討段階であるため、決定次第速やかに周知していくこととします。一時預かりとの違いについても、分かりやすい周知を心がけます。

【委員】

今のところ、私立園からのこども誰でも通園の実施希望はあるか。

【事務局】

私立園については、これから実施の意向確認をしていく予定となります。

5 閉会

【終了 19:43】